

# みんなの 日本語

## 大家的日语 2



外语教学与研究出版社

(京)新登字 155 号

京权图字: 01 - 2002 - 4122

图书在版编目(CIP)数据

大家的日语 2/株式会社 スリーエーネットワーク 编著. - 北京:外语教学与研究出版社, 2002

ISBN 7 - 5600 - 3147 - 1

I. 大… II. 株… III. 日语 - 教材 IV. H36

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2002)第 092965 号

© 株式会社 スリーエーネットワーク

1998 年 第 1 版

本出版物只限在中华人民共和国境内销售

## 大家的日语 2

株式会社 スリーエーネットワーク 编著

\* \* \*

责任编辑: 张 溥

出版发行: 外语教学与研究出版社

社 址: 北京市西三环北路 19 号 (100089)

网 址: <http://www.fltrp.com.cn>

印 刷: 北京外国语大学印刷厂

开 本: 787×1092 1/16

印 张: 17

版 次: 2003 年 1 月第 1 版 2003 年 1 月第 1 次印刷

书 号: ISBN 7 - 5600 - 3147 - 1/G·1502

定 价: 19.90 元

\* \* \*

如有印刷、装订质量问题出版社负责调换

制售盗版必究 举报查实奖励 (010)68917826

版权保护办公室举报电话: (010)68917519



## 出版说明

《大家的日语 1、2》作为畅销教材《新日语基础教程 1、2》的姊妹篇由日本株式会社スリーエーネットワーク出版社编著并出版。本套教材沿用《新日语基础教程 1、2》的教学方式，清晰地提出学习项目和学习方法，精心地设计会话场面和出场人物，并通过大量的、反复的练习培养学习者的语言应用能力。而本套教材与其姊妹篇的最大区别在于：是以普通的日语初学者为对象。因此，其场景设置与日常生活息息相关。

为使学习者在有限的时间内达到掌握基本听说能力的目标，建议将本套教材和录音带配合使用，以求达到更好的学习效果。

在认真学习本套教材并反复应用语言后，您的日语水平一定会有很大的提高。

外语教学与研究出版社

2002年12月

## まえがき

本書は、『みんなの日本語』という書名が示すように、初めて日本語を学ぶ人が、だれでも楽しく学べるよう、また教える人にとっても興味深く教えられるように3か年以上の年月をかけて企画・編集したもので、『新日本語の基礎』の姉妹編ともいべき本格的な教科書です。

ご存じのように『新日本語の基礎』は技術研修生のために開発された教科書であるにもかかわらず、初級段階の日本語教材として、内容が十分整備され、短時日で日本語の会話を習得しようとする学習者にとって、学習効率が抜群によいところから、現在も国内はもちろん海外でも広く使われております。

さて、近年日本語教育はますます多様化してきております。国際関係の発展に伴い諸外国との人的交流が深まる中、さまざまな背景と目的を持つ外国人が日本の地域社会に受け入れられてきています。このような外国人の増加による日本語教育をめぐる社会環境の変化はまた、それぞれの日本語教育の現場にも影響を及ぼし、学習ニーズの多様化と、それらに対する個別の対応がもたえられています。

このような時期にあたり、スリーエーネットワークは、国の内外で長年にわたり日本語教育の実践に当たってこられた多くの方々のご意見とご要望にこたえて、『みんなの日本語』を出版することとなりました。すなわち、『みんなの日本語』は『新日本語の基礎』の特徴、学習項目と学習方法のわかりやすさを生かすとともに、会話の場面や登場人物など、学習者の多様化に対応して、より汎用性の高いものとするなど、国の内外のさまざまな学習者と地域の特性にも支障なく、日本語の学習が楽しく進められるように内容の充実と工夫を図りました。

『みんなの日本語』の対象は、職場、家庭、学校、地域などで日本語によるコミュニケーションを今すぐ必要としている外国人のみなさんです。初級の教材ですが、登場する外国人のみなさんと日本人の交流の場面には、できるだけ日本事情と日本人の社会生活・日常生活を反映させるようにしました。主として一般社会人を対象にしていますが、もちろん大学進学の前準備課程、あるいは専門学校・大学での短期集中用教科書としてもお勧めできるものです。

なお、当社では学習者の多様性と現場の個々のニーズにこたえるため、今後も引き続き新しい学習教材を積極的に制作してまいりますので、変わらぬご愛顧をお願い申し上げます。

最後に、本書の編纂に当たりましては各方面からのご意見、授業での試用など、多大

のご協力をいただきました。ここに深く感謝申し上げます。スリーエーネットワークはこれからも日本語学習教材の出版等を通じて、人と人のネットワークを全世界に広げて行きたいと願っております。

どうか一層のご支援とご鞭撻をお願い申し上げます。

株式会社スリーエーネットワーク  
代表取締役社長 小川 巖

# 凡例

## I. 教科書の構成

『みんなの日本語 初級Ⅱ』は「本冊」、「翻訳・文法解説」、及び「カセットテープ」よりなる。

この教科書は日本語を聞く、話すということを中心に構成されている。従って、ひらがな、かたかな、漢字などの文字の読み書き指導は含んでいない。

## II. 教科書の内容及び使い方

### 1. 「本冊」

#### 1) 本課

『みんなの日本語 初級Ⅰ』（全25課）に続く第26課から第50課までの構成で、内容は以下のように分けられる。

#### ① 文型

その課で学ぶ基本文型が掲げてある。

#### ② 例文

基本文型が実際にどのように用いられているかを質問及び答えという小さい談話の形で示した。また新出の副詞や接続詞などの使い方や基本文型以外の学習項目も示されている。

#### ③ 会話

会話には日本で生活する外国人が登場し、様々な場面を繰り広げる。各課の学習内容に日常生活で使用されるあいさつ等の慣用表現を加えた。平易な会話であるから、全文暗記することが望ましい。余裕があれば、「翻訳・文法解説」中の参考語彙を利用して、会話を発展させ、幅広い会話力を身に付けてほしい。

#### ④ 練習

練習はA、B、Cの三段階に分かれる。

練習Aは文法的な構造を理解しやすいように、視覚的にレイアウトした。基本的な文型の定着を図るとともに、活用形の作り方、接続の仕方などを学びやすく配慮した。

練習Bでは様々なドリル形式を用いて、基本文型の定着の強化を図る。指示された例に従って練習すること。☞の付いた番号は絵チャートを用いる練習を示す。

練習Cは文型が実際にどのような場面、状況の中で、その機能を果たすかを学び、発話力につなぐための短い会話ドリルである。単にリピートするだけでなく、モデル文の代入肢を変えたり、内容を膨らませたり、さらには場面を展開させたりする練習を試みてほしい。

## ⑤ 問題

問題には、聞き取り（☞マークの箇所）問題、文法問題、及び読解問題がある。聞き取りはテープを聞いて、短い質問に答える問題と、短い会話のやりとりを聞いて要点を把握する問題とがある。これらは聞き取りの力の強化を図るために設けた。文法問題では、語彙や理解度を確認する。読解問題では既習事項を応用して、まとまった文を読み、理解する力をつける。

### 2) 復習

数課ごとに学習事項の要点を整理するために設けた。

### 3) まとめ

「本冊」の終わりに、この教科書に提出された助詞や動詞のいろいろなフォームの使い方、副詞や接続詞などの文法事項を項目ごとにまとめ、例文を掲げた。

### 4) 索引

第1課から第50課までの全新出語彙・表現等を、各々の初出課と共に示した。

## 2. 「翻訳・文法解説」

### 1) 第26課から第50課までの

- ① 新出語彙とその訳
- ② 文型、例文、会話の翻訳
- ③ その課の学習に役に立つ参考語彙と日本事情に関する簡単な紹介
- ④ 文型及び表現などに関する文法説明

### 2) 「本冊」の終わりに掲げられた助詞、フォームの使い方、副詞及び接続詞などのまとめの翻訳

### 3. カセットテープ

カセットテープには各課新出語彙、文型、例文、練習C、会話、問題の聞き取り部分が収録されている。語彙、文型、例文ではアクセント、イントネーションに注意して発音を学び、会話、練習Cでは自然な速さの日本語に慣れ、聞き取りの力を付けてほしい。

### 4. 表記上の注意

1) 漢字は原則として、「常用漢字表」による。

- ①「熟字訓」(2文字以上の漢字を組み合わせ、特別な読み方をするもの)のうち、「常用漢字表」の「付表」に示されるものは漢字で書いた。

例： 友達<sup>ともたち</sup> 果物<sup>くだもの</sup> 眼鏡<sup>めがね</sup>

- ② 国名・地名などの固有名詞、又は芸能・文化などの専門分野の語には、「常用漢字表」にない漢字や音訓も用いた。

例： 大阪<sup>おおさか</sup> 奈良<sup>なら</sup> 歌舞伎<sup>かぶき</sup>

2) 「常用漢字表」及び「付表」に示される範囲で漢字を用い、振りがなを付けたが、学習者の読みやすさを配慮して、漢字を用いず、かな書きにしたものがある。

例： ある(有る・在る) たぶん(多分) きのう(昨日)

3) 数字は原則として算用数字を用いた。

例： 9時<sup>じ</sup> 4月1日<sup>がついついたち</sup> 1つ<sup>ひと</sup>

ただし、次のような場合は漢数字を用いた。

例： 一人<sup>ひとり</sup>で 一度<sup>いちど</sup> 一万円札<sup>いちまんえんきつ</sup>

### 5. その他

1) 文中省略できる語句は[ ]でくくった。

例： 父<sup>ちち</sup>は 54[歳<sup>さい</sup>]です。

2) 1つのものに違った表現がある場合はそれを( )でくくった。

例： だれ(どなた)



3) 「翻訳・文法解説」中、置き換えができる部分は、～で示した。

例： ～は いかがですか。

ただし、置き換え部分が数字の場合は一で示した。

例： 一<sup>さい</sup>歳 一<sup>えん</sup>円 一<sup>じかん</sup>時間

## 学習者のみなさんへ —効果的な学習法—

### 1. ことばをよく覚えます。

この教科書には各課ごとに新しいことばが提出されています。まず、テープを聞きながら、正しい発音とアクセントでことばをよく覚えます。出てきた新しいことばを使って、短い文を作る練習を必ずしてください。ことばだけではなく、フレーズによって覚えることが大切です。

### 2. 文型の練習をします。

文型の正しい意味をとらえ、文の形がしっかり身につくまで「練習A, B」で繰り返し練習してください。とくに「練習B」は実際に声を出して、練習することが大切です。

### 3. 会話の練習をします。

文型練習の次は会話の練習です。「会話」は日本で生活する外国人が日常生活で遭遇するさまざまな場面を取り上げてあります。こうした会話に慣れるために、まず「練習C」でよく練習します。練習の際には、練習Cのパターンだけで終わらずに、もっと会話を続け、膨らませるようにしてください。さらに、「会話」の練習で場面や状況にふさわしいやり取りのこつを覚えてください。

### 4. テープを何度も聞きます。

練習C及び会話を練習する際には、正しい発音や抑揚などを身につけるために、テープを聞きながら、実際に声を出して練習します。また、日本語の音やスピードに慣れ、内容を聞き取る力を養うためにも、テープを何度も聞きます。

### 5. 必ず復習・予習をします。

授業で習ったことを忘れないために、必ずその日のうちに復習をします。最後に「問題」で学んだことを確認し、聞き取りの力を試してください。

「読み物」はまとまった文章を理解する力をつけるための応用問題です。語彙を参照しながら、読んでください。

また、時間に余裕があれば、次に学習する課の語彙と文法を見ておきます。基本的な準備をしておけば、次の学習が効率的に行えます。

### 6. 実際に話してみます。

教室の中だけが学習の場ではありません。学んだ日本語を使って、日本人に話しかけてみてください。習ったことを、すぐ試してみる。それが上達への近道です。

以上のやり方で、この教科書の基本を終えると、日常生活に必要な基本語彙と基本的な表現が身につきます。

『みんなの日本語 初級 I 本冊』の内容

第 1 課

1. わたしは マイク・ミラーです。
2. サントスさんは 学生じゃ ありません。
3. ミラーさんは 会社員ですか。
4. サントスさんも 会社員です。

会話：初めまして

第 2 課

1. これは 辞書です。
2. これは コンピューターの 本です。
3. それは わたしの 傘です。
4. この 傘は わたしのです。

会話：ほんの 気持ちです

第 3 課

1. ここは 食堂です。
2. 電話は あそこです。

会話：これを ください

第 4 課

1. 今 4時5分です。
2. わたしは 9時から 5時まで 働きます。
3. わたしは 朝 6時に 起きます。
4. わたしは きのう 勉強しました。

会話：そちらは 何時から 何時までですか

第 5 課

1. わたしは 京都へ 行きます。
2. わたしは タクシーで うちへ 帰ります。
3. わたしは 家族と 日本へ 来ました。

会話：甲子園へ 行きますか

第 6 課

1. わたしは ジュースを 飲みます。
2. わたしは 駅で 新聞を 買います。
3. いっしょに 神戸へ 行きませんか。
4. ちょっと 休みましょう。

会話：いっしょに 行きませんか

第 7 課

1. わたしは ワープロで 手紙を 書きます。
2. わたしは 木村さんに 花を あげます。
3. わたしは カリナさんに チョコレートを もらいました。

かいわ  
会話：ごめんください

第 8 課

1. 桜はきれいです。
2. 富士山は高いです。
3. 桜はきれいな花です。
4. 富士山は高い山です。

かいわ  
会話：そろそろ失礼します

第 9 課

1. わたしはイタリア料理が好きです。
2. わたしは日本語が少しわかります。
3. きょうは子どもの誕生日ですから、早く帰ります。

かいわ  
会話：残念です

第 10 課

1. あそこに佐藤さんがいます。
2. 机の上に写真があります。
3. 家族はニューヨークにいます。
4. 東京ディズニーランドは千葉県にあります。

かいわ  
会話：チリソースはありませんか

第 11 課

1. 会議室にテーブルが7つあります。
2. わたしは日本に1年います。

かいわ  
会話：これ、お願いします

第 12 課

1. きのは雨でした。
2. きのは寒かったです。
3. 北海道は九州より大きいです。
4. わたしは1年で夏がいちばん好きです。

かいわ  
会話：お祭りはどうでしたか

第 13 課

1. わたしはパソコンが欲しいです。
2. わたしはてんぷらを食べたいです。
3. わたしはフランスへ料理を習いにいきます。

かいわ  
会話：別々にお願いします

第 14 課

1. ちょっと待ってください。
2. ミラーさんは今電話をかけています。

かいわ  
会話：梅田まで行ってください

第 15 課

1. 写真を撮ってもいいです。



2. サントスさんは パソコンを 持って います。

会話：ご家族は？

第 16 課

1. 朝 ジョギングを して、シャワーを 浴びて、会社へ 行きます。

2. コンサートが 終わってから、レストランで 食事を しました。

3. 大阪は 食べ物が おいしいです。

4. この パソコンは 軽くて、便利です。

会話：使い方を 教えて ください

第 17 課

1. ここで 写真を 撮らないで ください。

2. パスポートを 見せなければ なりません。

3. レポートは 出さなくても いいです。

会話：どう しましたか

第 18 課

1. ミラーさんは 漢字を 読む ことができます。

2. わたしの 趣味は 映画を 見る ことです。

3. 寝る まえに、日記を 書きます。

会話：趣味は 何ですか

第 19 課

1. 相撲を 見た ことがあります。

2. 休みの 日は テニスを したり、散歩に 行ったり します。

3. これから だんだん 暑く なります。

会話：ダイエットは あしたから します

第 20 課

1. サントスさんは パーティーに 来なかった。

2. 日本は 物価が 高い。

3. 沖縄の 海は きれいだった。

4. きょうは ぼくの 誕生日だ。

会話：夏休みは どう するの？

第 21 課

1. あした 雨が 降ると 思います。

2. 首相は 来月 アメリカへ 行くと 言いました。

会話：わたしも そう 思います

第 22 課

1. これは ミラーさんが 作った ケーキです。

2. あそこに いる 人は ミラーさんです。

3. きノウ 習った ことばを 忘れました。

4. 買い物に 行く 時間が ありません。

会話：どんな アパートが いいですか

第 23 課

1. 図書館で本を借りる とき、カードが 要ります。
2. この ボタンを 押すと、お釣りが 出ます。

会話：どうやって 行きますか

第 24 課

1. 佐藤さんは わたしに クリスマスカードを くれました。
2. わたしは 木村さんに 本を 貸して あげました。
3. わたしは 山田さんに 病院の 電話番号を 教えて もらいました。
4. 母は わたしに セーターを 送って くれました。

会話：手伝って くれますか

第 25 課

1. 雨が 降ったら、出かけません。
2. 雨が 降っても、出かけます。

会話：いろいろ お世話に なりました

— かいわ とうじょうじんぶつ —  
— 会話の 登場人物 —



マイク・ミラー

アメリカ、IMCの しゃいん 社員



まつもと ただし  
松本 正

にほん おおさか の ぶちょう  
日本、IMC (大阪) の 部長



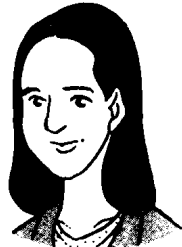
なかむら あきこ  
中村 秋子

にほん えいぎょうかちょう  
日本、IMC の 営業課長



すずき やすお  
鈴木 康男

にほん しゃいん  
日本、IMC の 社員



イー ジンジュ

かんこく けんきゅうしゃ  
韓国、AKC の 研究者



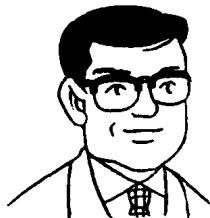
タワポン

たい、さくらだいがく の がくせい  
タイ、さくら大学の 学生



おがわ よね  
小川 よね

にほん おがわ ひろし の はは  
日本、小川 博の 母



おがわ ひろし  
小川 博

にほん りんじん  
日本、マイク・ミラーの 隣人



おがわ さちこ  
小川 幸子

にほん しゅふ  
日本、主婦

## 執筆協力

- 田中よね 財団法人海外技術者研修協会 非常勤講師  
松下電器産業株式会社 海外研修所 日本語コーディネーター
- 牧野昭子 財団法人海外技術者研修協会 非常勤講師  
国際交流基金関西国際センター 非常勤講師
- 重川明美 財団法人海外技術者研修協会 非常勤講師  
松下電器産業株式会社 海外研修所 講師
- 御子神慶子 財団法人海外技術者研修協会 非常勤講師  
松下電器産業株式会社 海外研修所 講師
- 古賀千世子 神戸大学留学生センター 非常勤講師  
松下電器産業株式会社 海外研修所 講師
- 沢田幸子 大阪YWCA 専門学校 日本語学科 非常勤講師  
京都大学留学生センター 講師
- 新矢麻紀子 大阪大学留学生センター 非常勤講師  
松下電器産業株式会社 海外研修所 講師

## 監修

- 石沢弘子 財団法人海外技術者研修協会  
豊田宗周 財団法人海外技術者研修協会

## イラストレーション

- 佐藤夏枝  
向井直子